

「グランシップ伝統芸能普及プログラム」

常葉学園グループの現役国語科教員が能楽を体験します！

～国語科教員が能楽師から直接学び、伝統芸能の理解を深め教育実践の一助とします～

1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、平成22年度より「伝統芸能普及プログラム」を実施し、市町の文化施設や教育機関と連携して、能楽などの伝統芸能がもつ魅力や特徴などを多角的に紹介しています。

今回は、常葉学園グループの現役国語科教員の教職員研修の一環として、一流の能楽師から能楽を学び、伝統芸能への理解を深め、実感を伴う教育実践の一助とします。静岡県ゆかりの謡曲「羽衣」を中心に基本的な構えや足の運びを体験します。教員の実体験を生徒に伝えることで、内容の濃い授業の実施に繋がります。

2 概要

区分	内容
公演名	グランシップ伝統芸能普及プログラム 常葉学園教職員夏季研修会分科会「能楽ワークショップ」
日時	平成26年8月29日（金）10:50～12:10
会場	常葉大学静岡キャンパス 本館4階402、418（静岡市葵区瀬名1-22-1）
講師	山階彌右衛門（観世流シテ方 二十六世宗家観世清可寿氏実弟） 観世芳伸（観世流シテ方 二十六世宗家観世清可寿氏実弟） 岡本はる奈（小鼓）
受講生	常葉学園グループの現役教職員など約65名
講義内容	・講話（能楽について：山階彌右衛門） ・謡の体験「羽衣キリ」の稽古 ・足の運びや構えの稽古 ・囃子方の道具の解説 ・能楽師による「羽衣キリ」の実演
本プログラムの目的・特徴	<p>グランシップで継続している能楽公演を単なる興行的公演で終わらせず、地域と連携したプログラムとして構成しています。また、各地で開催されているアウトリーチ事業は決まったものを様々な場所で同じように公演することが多く見られますが、本事業は各地域や機関の実情に合わせ、内容や出演者を個別に選定しています。能楽という芸術だけでなく、“能楽師”という演者・芸術家の人としての魅力にも触れることができます。</p> <p>今回は現役教職員に能楽の知識を提供するだけでなく、学習指導要領のもと実体験をもとにした指導ができるよう、文化財団と教育機関が連携して組み立てています。</p>
主催	公益財団法人静岡県文化財団／常葉学園

3 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者：（公財）静岡県文化財団 事業課 電話 054-203-5714 （担当：渡邊麻恵）